

三洋貿易株式会社(証券コード：3176) 会社説明会

世の中の課題解決に貢献し、人と地球の笑顔をつくる

代表取締役社長 新谷 正伸

2026年8月29日

自己紹介



代表取締役社長

新谷 正伸

Shintani Masanobu

基本情報

東京都東村山市出身 68歳

経歴

1958年	東京生まれ
1982年	早稲田大学卒業
1982年	三洋貿易株式会社 入社
2004年	Sanyo Trading Asia Co., Ltd. 社長
2008年	東京ゴム3部長
2012年	執行役員 Sanyo Corporation America 社長
2013年	Sanyo Trading (Shanghai) Co., Ltd. 董事長
2014年	取締役兼執行役員経営戦略室長
2018年	代表取締役社長兼社長執行役員(現任)

座右の銘

「人事を尽くして天命を待つ」

趣味、写真



VISION

世の中の課題解決に貢献し、人と地球の笑顔をつくる

スローガン

Quest for Next よりよい未来(最適解)を探求する

企業概要

会社名	三洋貿易株式会社 (証券コード:3176)
創業	1947年5月
資本金	10億658万円
代表者	代表取締役社長 新谷 正伸
所在地	東京都千代田区神田錦町2-11
発行済み株式数	58,015,416株 ※2026年7月1日時点
株主数	14,610名

※2026年6月30日時点



初代社長
玉木 榮一

-先人訓-

品格「社格を下げるものはやるな」

人材「商社は人である。教育は命である」

信用「信用こそ商人の生命線」

自由闊達な社風



社員の成長 = 会社の成長
「人のSanyo」

01

01

当社の業績・強み

02

ビジネスモデル・高収益性

03

成長戦略

04

株主還元

At a Glance^{※1}

売上高
—
1,327 億円
5期連続
過去最高更新

営業利益
—
64 億円


連結従業員数
—
747 名

単体従業員数
男性 **210** 名
女性 **113** 名
女性比率 **35.0%**

営業社員理系出身比率
54%

ROE^{※2}
—
10.7%
高い資本効率

ROIC^{※2,3}
—
9.0%
高い投下資本効率


海外拠点数
—
10 力国
15 拠点

※1 2025年9月期、2025年9月末日時点

※2 直近3期の平均値

※3 税引後営業利益÷期末投下資本（＝有利子負債＋自己資本）

ユニークネス

People Company

パートナーシップモデル

三洋貿易のユニークネス

よい仕事

高付加価値商材

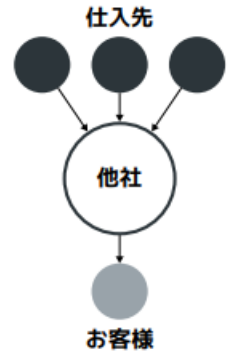
三洋貿易

当社は「1商品1仕入先」を基本方針とし、長期的な戦略的パートナーシップを重視しています。一方で、販売先については特定の系列に縛られることなく、すべてのお客様と取引できる独立系商社ならではの強みを発揮しています。



他社

系列系商社の場合、仕入れは価格条件を比較しながら都度仕入先を決定する「二社購買」「三社購買」が一般的です。しかし、販売先については系列の制約があるため、取引範囲が限定されます。



セグメント別構成比率^{※1}

- ファインケミカル、インダストリアル・プロダクツ、ライフサイエンスが約3割ずつの売上
- サステナビリティは今後成長が見込まれるセグメント

ファインケミカル

分野：合成ゴム、塗料、インキ、コーティング

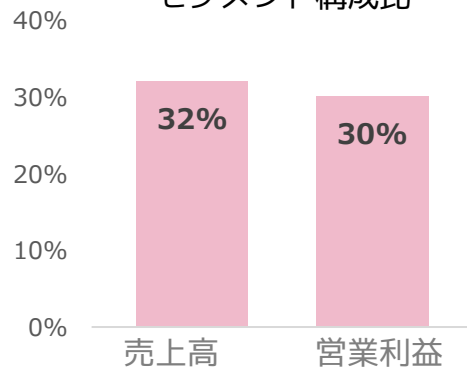


ゴム関連



化学品関連

セグメント構成比



インダストリアル・プロダクツ

分野：あらゆる移動体

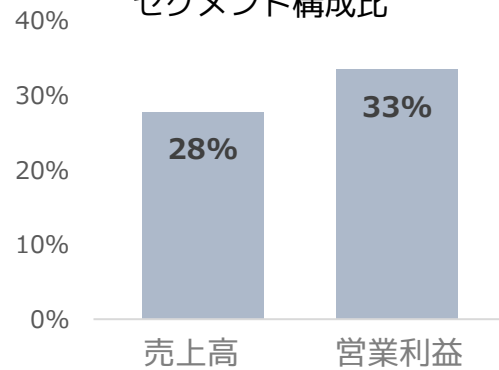


自動車内装部材



スキャニングによる
ベンチマーキングサービス

セグメント構成比



サステナビリティ

分野：再生可能エネルギー（バイオマス、地熱、海洋）、畜産飼料



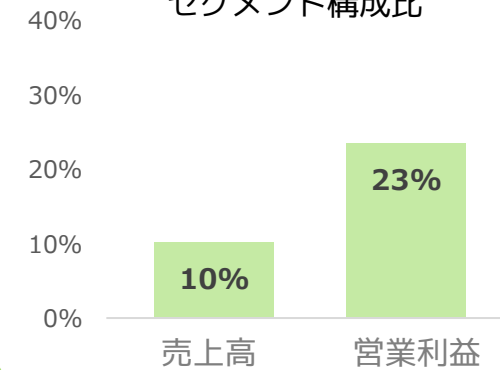
木質バイオマス関連



洋上風力
海洋調査関連



セグメント構成比



ライフサイエンス

分野：食品添加物、化粧品、在宅医療、科学機器、バイオテクノロジー

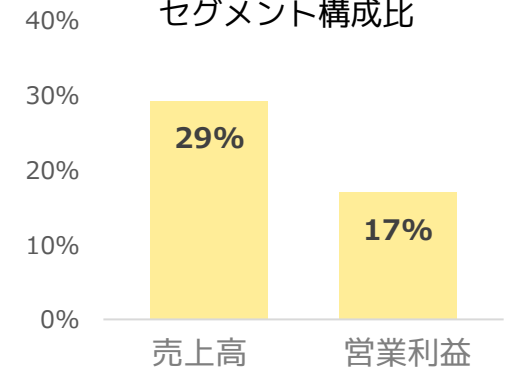


電子材料



評価装置

セグメント構成比



※ セグメント別売上高・営業利益比率は、25年9月期の連結調整前の数値を基に算出。「その他」を記載していないため、合計は100%となりません。

業績推移

■ 2012年の上場から10余年。上場以降、安定した成長を継続中

上場(2012年)以降の業績

売上高 **2.9倍** (年平均成長率 **7.8%**)

営業利益 **3.3倍** (年平均成長率 **9.0%**)

1947年5月
旧三井物産の解体に伴い、
神戸を本店として設立

1947

設立

■ 売上高
■ 営業利益

2012

上場

2013

2012年：東証第二部
2013年：東証第一部

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

2026

売上高予想
1,380億円
過去最高見込

上場から
2.9倍

営業利益予想
75億円
過去最高見込

上場から
3.3倍

02

01

当社の業績・強み

02

ビジネスモデル・高収益性

03

成長戦略

04

株主還元

三洋モデル（一気通貫モデル）

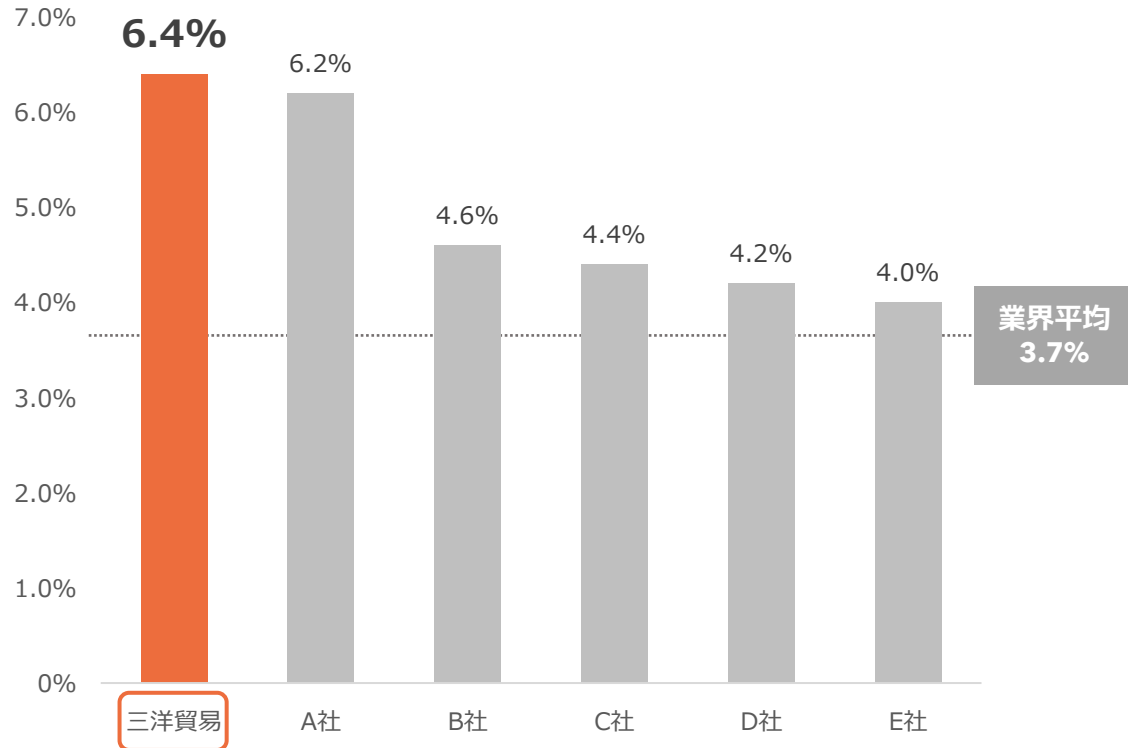
- 開発から保守までのソリューションを提供する技術営業力
- トップメーカーとの強固な長期的パートナーシップをベースに、高付加価値商材を提供



高収益性及び資本効率性

営業利益率

同業他社比で高い利益率



* 比較会社：三洋貿易、専門商社 合計11社 以下五十音順

(稲畑産業、岩谷産業、岡谷鋼機、極東貿易、第一実業、蝶理、長瀬産業、明和産業、GSIクレオス、YUASA)

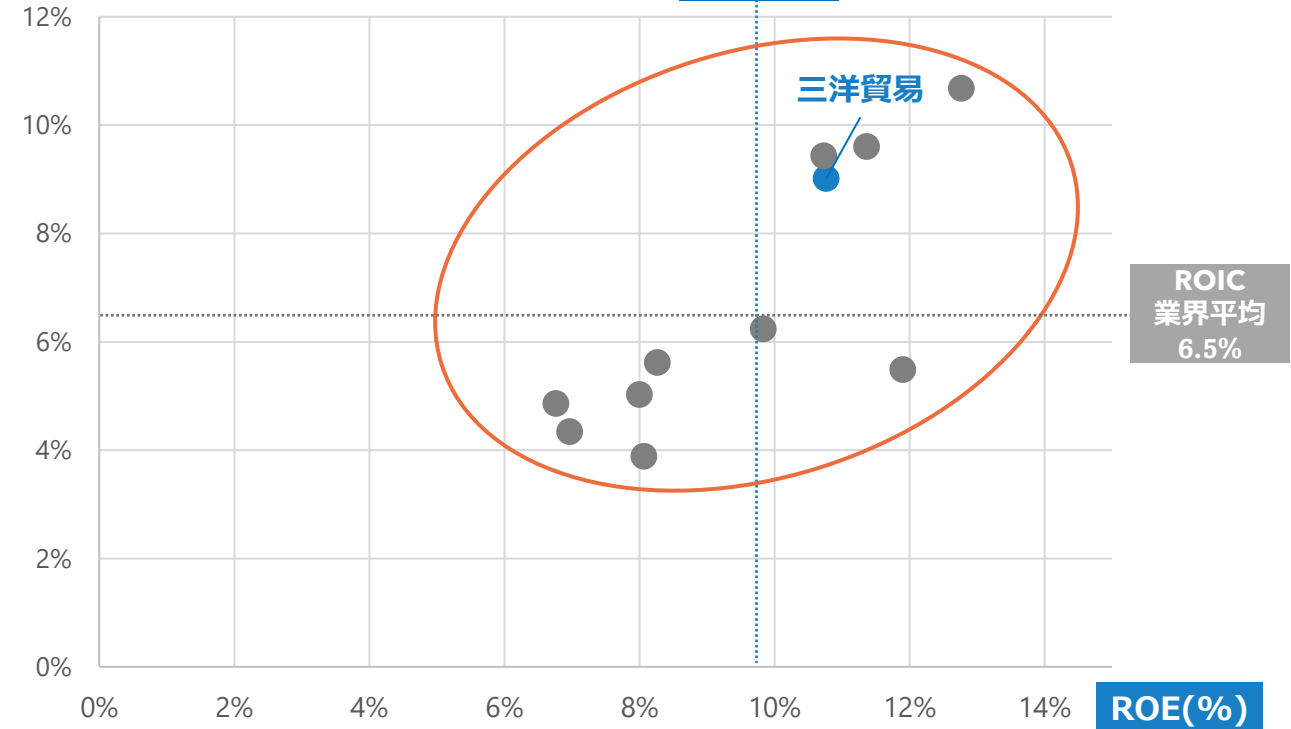
* 2026年3月期実績(三洋貿易は2026年9月期上期実績)の値。上記A～E社はその中の上位5社

* 有価証券報告書より算出

ROE/ROIC

業界トップクラス

ROIC(%)



* 比較会社：三洋貿易、専門商社 合計11社、直近3期の平均値

* ROE = 親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 純資産（新株予約権・非支配株主持分を控除：期首・期末平均）× 100

* ROIC = 税引後営業利益（簡便法として税率30%を適用） ÷ 期末投下資本（= 有利子負債 + 自己資本）

* 有価証券報告書、決算短信より算出

03

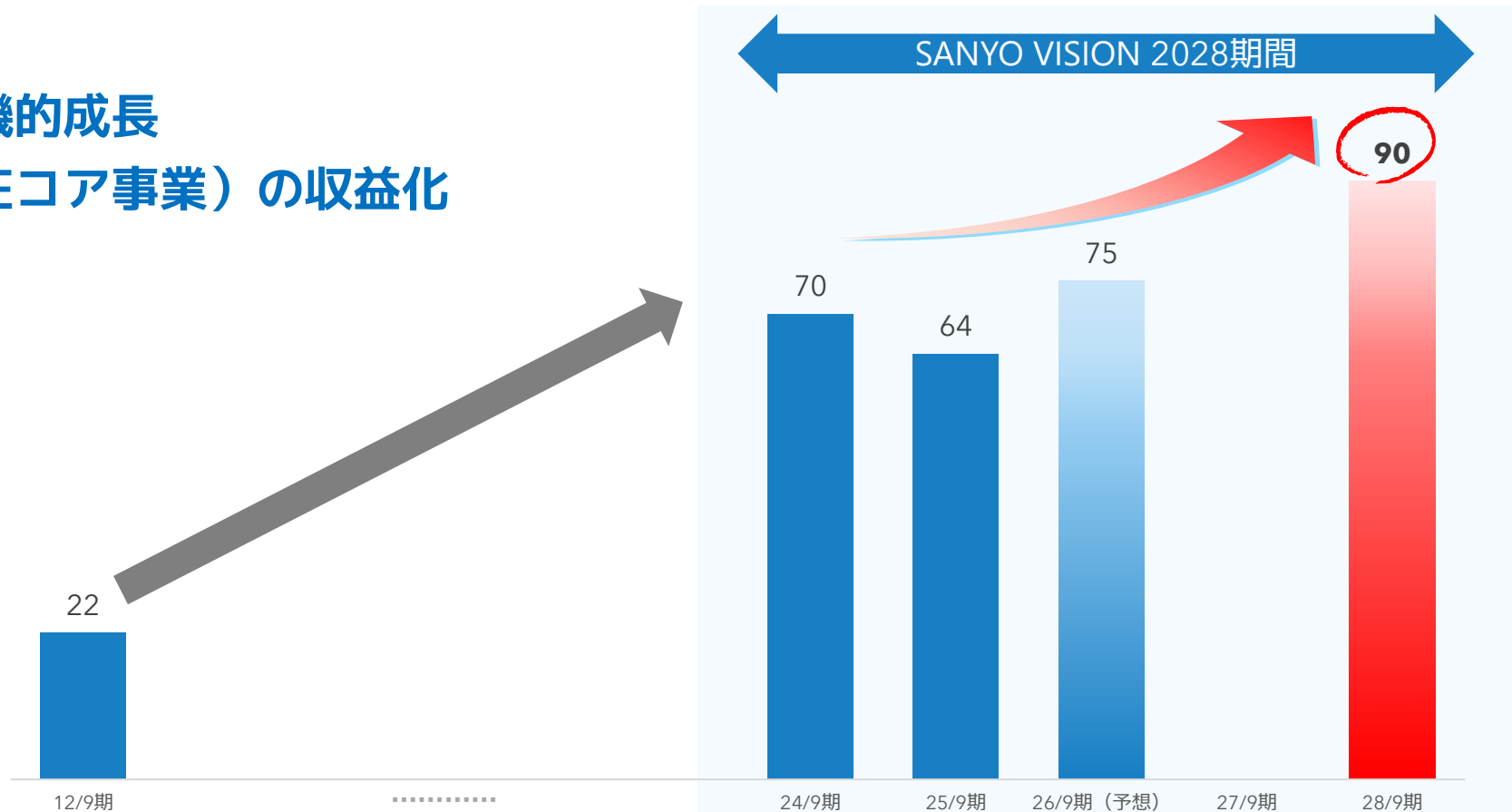
- 01 当社の業績・強み
- 02 ビジネスモデル・高収益性
- 03 成長戦略
- 04 株主還元

2028年9月期に向けた成長戦略

- 2026年9月期は最高益を更新の見通し
- SV2028（長期経営計画）の目標 **営業利益90億円**達成に向け、順調な進捗
- 成長戦略の柱は「既存事業の有機的成長」「新規事業の収益化」「M&Aの推進」

- ① 既存事業の有機的成長
- ② 新規事業（潜在コア事業）の収益化
- ③ M&Aの推進

営業利益額の推移
(単位：億円)



潜在コア事業の収益化（事業セグメントと注力事業）

- 成長ポテンシャルの高い成長事業・育成事業における多様な商材・サービスの展開
- 当社の強みである専門性・技術力および堅固な財務基盤を活かした戦略的投資による事業強化

赤字：最注力事業

ポートフォリオ	事業セグメント			
	ファインケミカル	インダストリアル・プロダクツ	サステナビリティ	ライフサイエンス
育成事業	- 天然由来素材 - 次世代用途の機能性素材 - 電材ケミカル	- EV保守メンテナンス機材 - 環境対応表皮 - 高周波同軸ケーブル	- 洋上風力発電関連機材 - カーボンニュートラル関連	- 化粧品関連 - 農業関連 - タンパク質解析/ バイオインフォマティクス
成長事業	- 機能性ゴム素材 - 副資材(ゴム) - 接着剤原料	自動車ベンチマーキング	- 木質バイオマス関連機材 - 海洋資源開発・調査関連	- LiB関連部材含む電材 - 食品添加物 - 新機能性飼料
基盤事業	- 基幹ゴム商材 - インキ原料 - 塗料・コーティング原料	自動車内装材	- ペレットミル - 地熱開発関連機材	- 科学機器 - フィルム - SAP ・香料 - 各種 機能性原料 - バイオ関連装置/試薬
要検討事業	低収益・低成長事業			

戦略的なM&A・
事業投資で強化

潜在コア事業の例①

インダストリアル・プロダクツ

自動車ベンチマーキング事業の深化

- 電動化で先行するグローバル企業車種を細部まで分解
- 最先端の研究材料を提供。「モノ売り」から「コト売り」



瑞浪展示場 展示会場



スキャンデータイメージ

来場者数
15,000人
突破

※2023年9月末：約4,000人

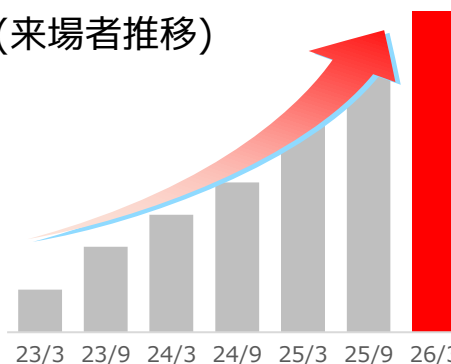
展示車数
25台
に拡大

※2023年9月末：10台

潜在顧客
拡大中

自動車メーカー
部品・材料メーカー
官公庁 等

(来場者推移)



➤ 新聞等メディアへの
掲載も多数展開中

潜在コア事業の例②

インダストリアル・プロダクツ

環境対応表皮の開発

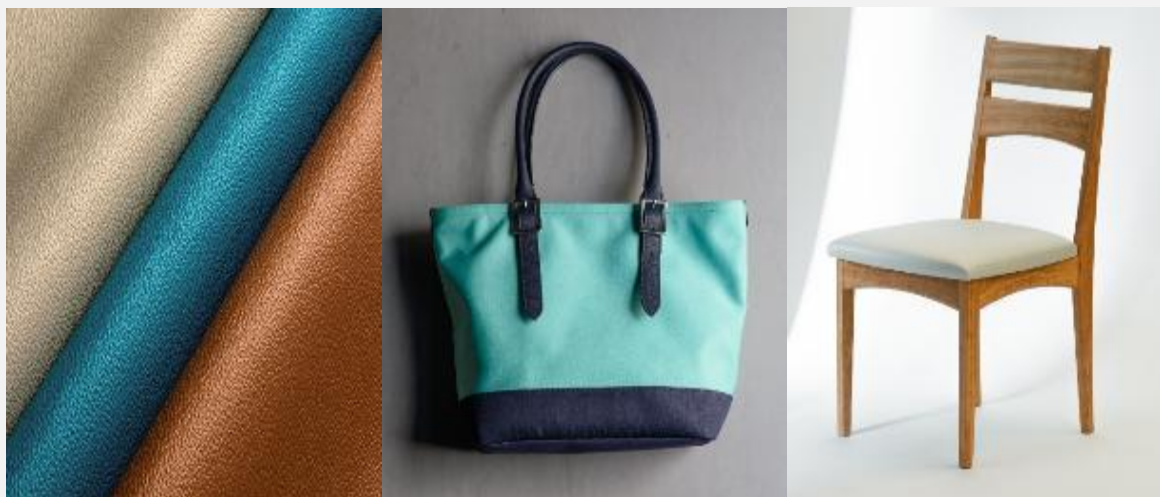
- 注力市場を俯瞰し、大きな成長を期待する有望なビジネスを開発

<サーキュラーマテリアル: QUARTECH>

「繊維から、まるで本革のような新しい生地を作る」

- 化学に強い当社と繊維に強い森常（株）との共同開発品

QUARTECH
Made in Hokuriku



企業ブースに
サンプルを展示
しています！

ポリエステル
100%の
モノマテリアル

100%
リサイクル
材料から製造

原料から製品
廃棄まで考慮した
CO₂削減

軽量素材
アパレル
採用実績

自動車、家具
など
幅広い用途

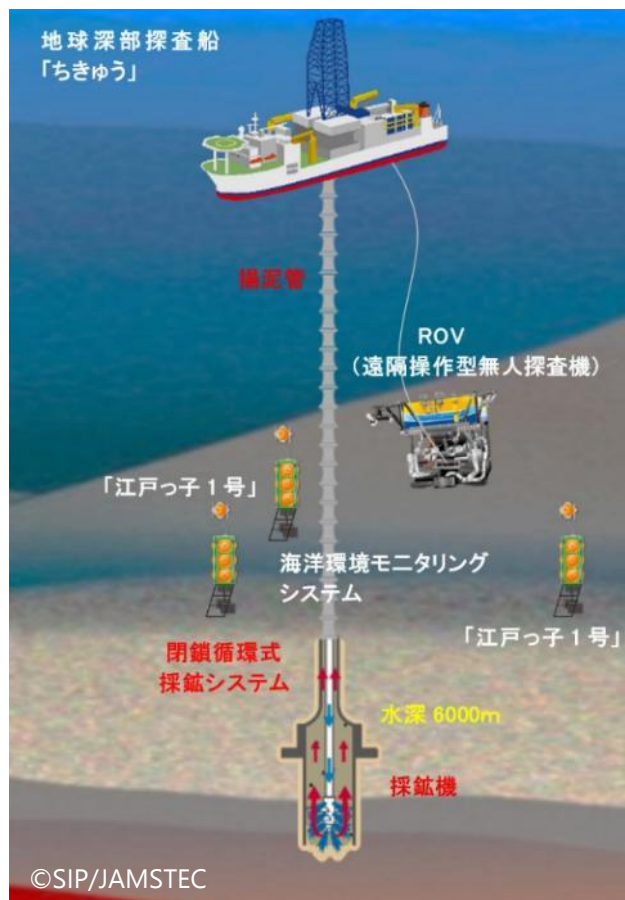
自由な意匠決定
生地感の低減

潜在コア事業の例③

サステナビリティ

海洋資源開発事業の展開

■ ～南鳥島レアアースプロジェクトに参画～ 揚泥管と浮力体・ROV・採鉱機の納品と技術支援



本格的な採泥試験（令和9年実施予定）の成功に向け全面的にサポート
水深6,000mで確立した圧倒的技術を武器に、レアアース泥をはじめマンガンノジュールや熱水鉱床など
次世代の海底鉱物資源開発を牽引。海底鉱物資源の未知なる領域を切り開き、海洋ビジネスの成長を加速

揚泥管：2025年5月末に納品、合計424

本



浮力体：2024年8月末に納品、合計820個



ROV：2025年秋に納品、「ちきゅう」へ実装完了



採鉱機：整備完了し2025年冬に納品



M&Aの推進（基本方針）

総額200～300億円の成長投資を予定(24/9～28/9の5年間)

～良質案件を厳選して投資実行～

① 3つの前提条件

事業を強くする
相乗効果

当社の
海外展開加速

将来の
成長性

② 保有方針

長期保有
を原則

自らオーナーシップを持って
事業運営を行う

キャピタルゲイン狙いの
投機はしない

③ 出資比率

マジョリティ取得を基本スタンス

④ 財務規律
(目安)

自己資本比率

50%以上

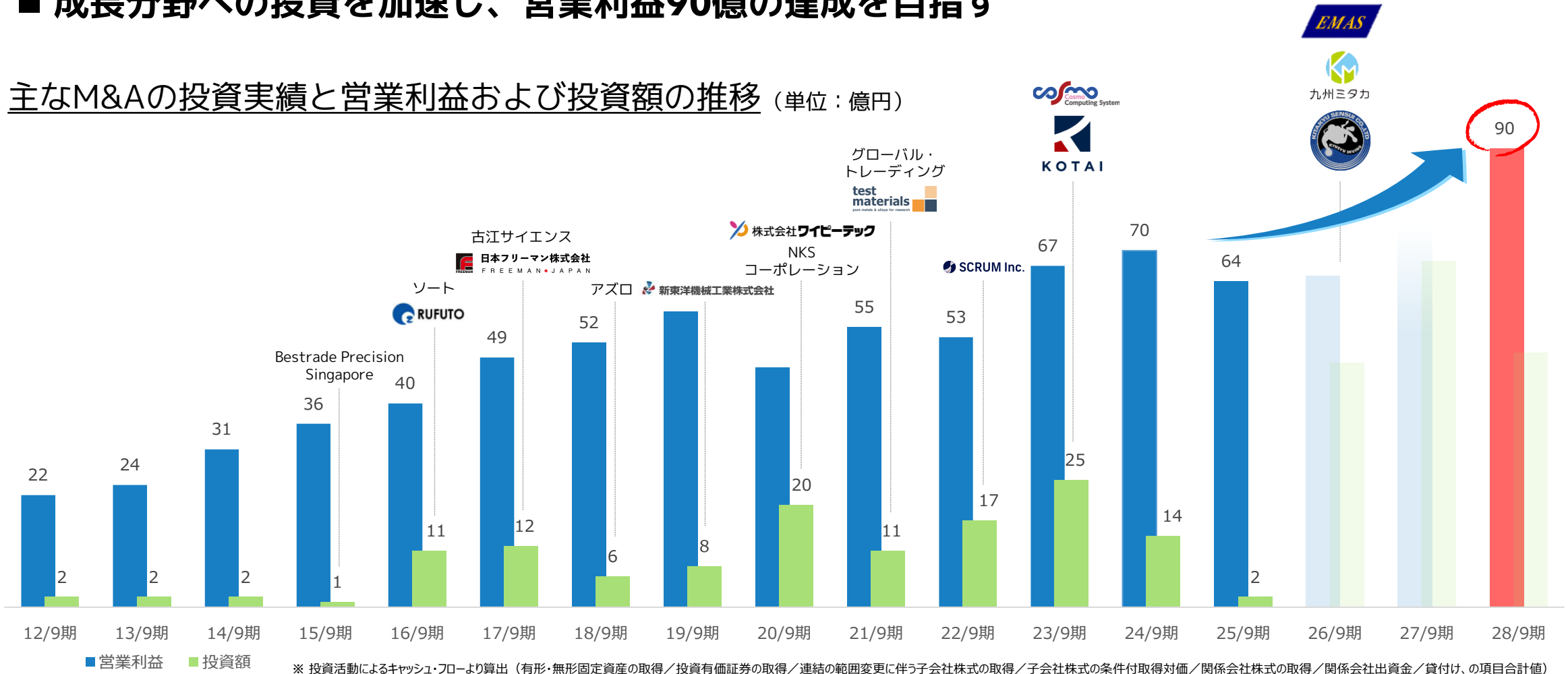
D/Eレシオ

0.5倍未満

M&Aの推進（実績）

- 年間1～2件実施のM&Aが着実に利益貢献。足元の投資案件も進捗中
- 成長分野への投資を加速し、営業利益90億の達成を目指す

主なM&Aの投資実績と営業利益および投資額の推移（単位：億円）



M&Aの推進（トピックス：EMAS社 全株式の取得）

インダストリアル・プロダクツ

（株式譲渡実行日：2025年10月1日）

■ 自動車アフターマーケットへの事業領域拡大を主眼とし、シンガポール法人EMAS社の全株式を取得

【名称】

- EMAS SUPPLIES & SERVICES PTE LTD

【概要】

- 自動車エアコン関連部品を販売するシンガポールの専門商社

【強み】

- 30 年超の業歴を有し、高い専門知識と広い仕入ネットワーク
- 中東および東南アジア中心に世界約50 か国以上に製品を供給

【狙い】

新車向け内装部材提供を主力としたモビリティ事業領域

自動車アフターマーケット市場へ事業を拡大し、
バリューチェーンの機能を多角化



三洋貿易

自動車業界との
強固な関係

グローバル
ネットワーク

EMAS社

高い専門知識と
仕入ネットワーク

中東・東南アジア
へのネットワーク

04

01

当社の業績・強み

02

ビジネスモデル・高収益性

03

成長戦略

04

株主還元

配当推移

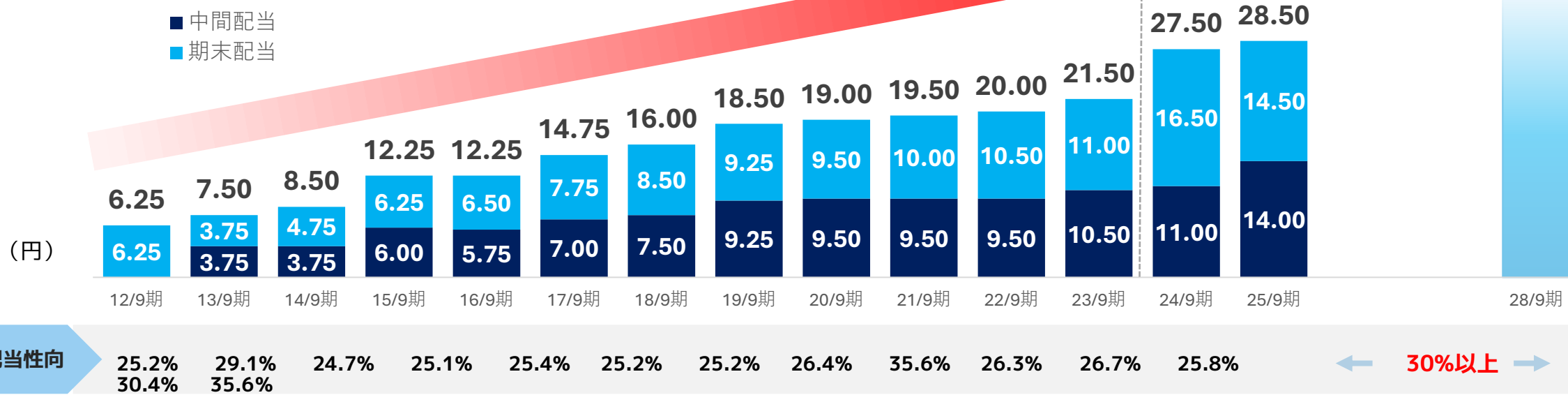
- 継続的な増配・安定配当を行う基本方針のもと、SANYO VISION 2028期間の配当は、**「配当性向30%以上」**を目途に**「累進配当」**を継続

【1株あたり配当推移】

SANYO VISION 2028期間 配当方針

配当性向30%以上・累進配当

SANYO VISION 2028期間

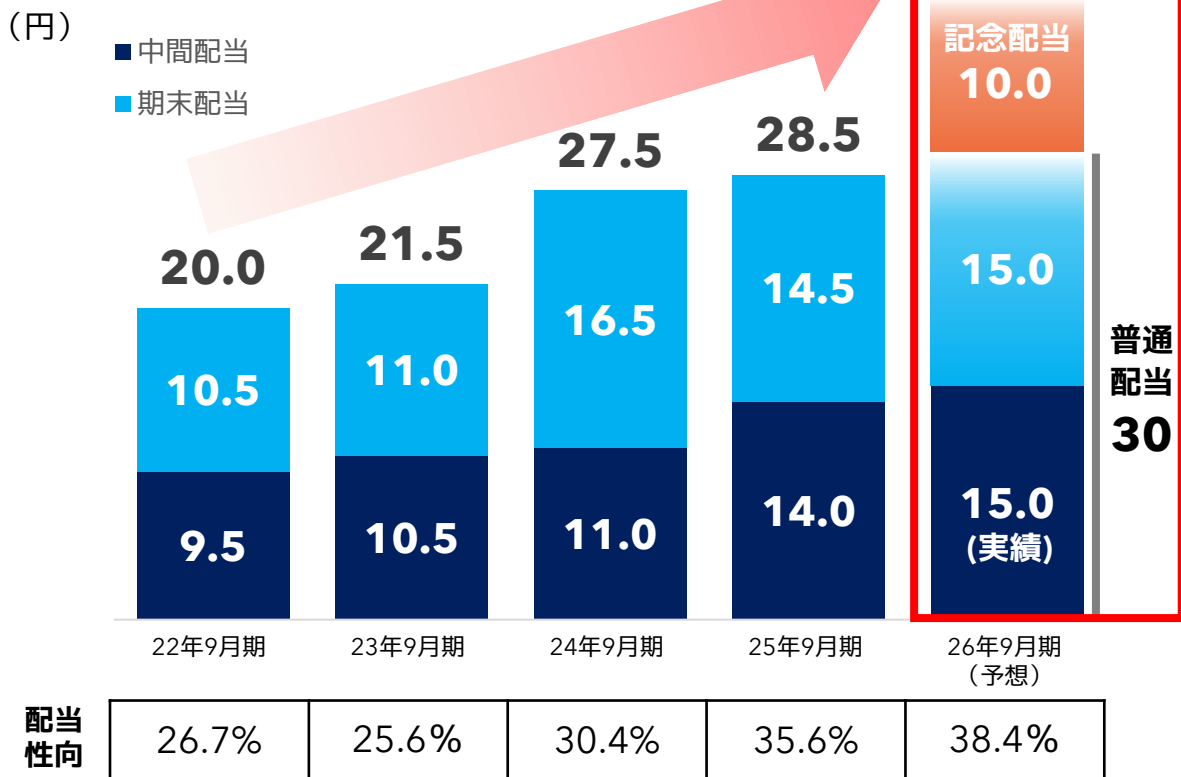


※2026年7月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を実施。1株当たり配当金は、株式分割を考慮した数値を記載。

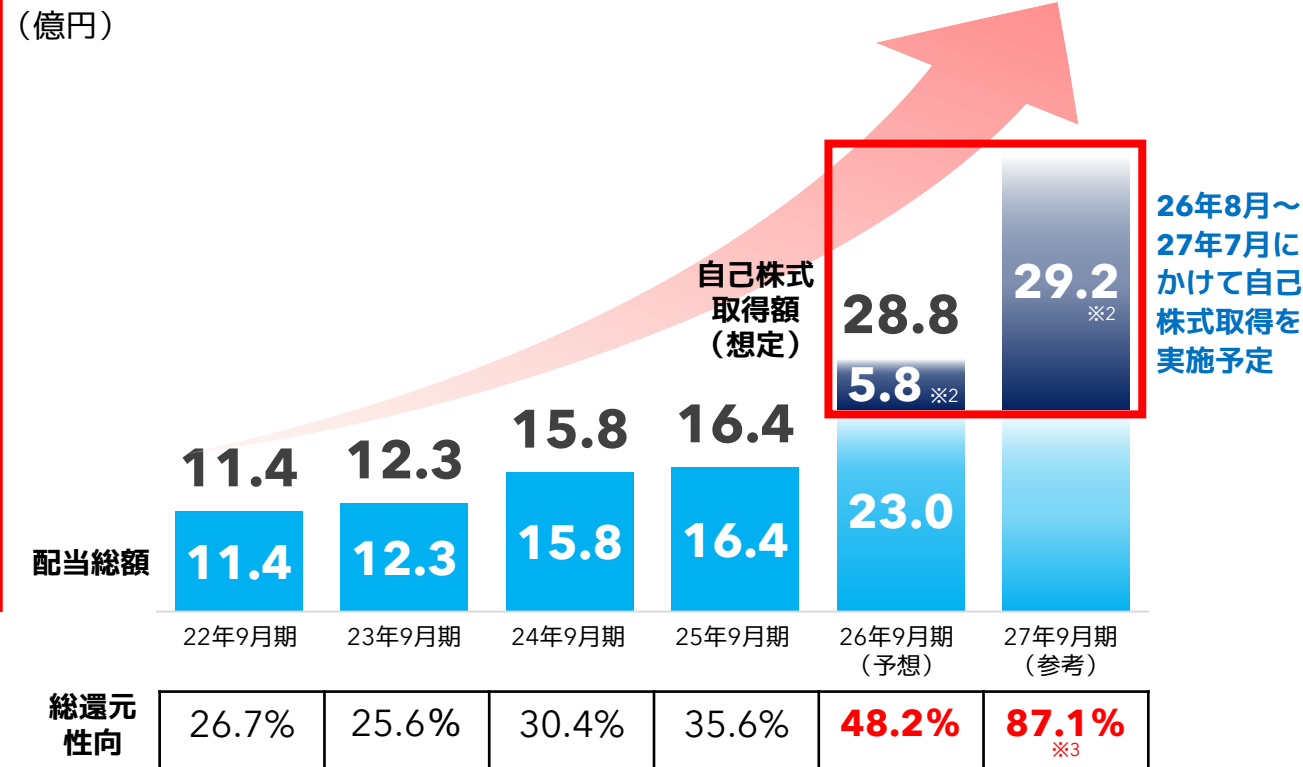
株主還元の充実

- 2026年9月期は、80周年記念配当により、年間配当を**10円増額**
- 290万株または35億円を上限とする自己株式取得を公表。自己株式取得を考慮した総還元性向は、**48.2%**に

【1株当たり配当金※1】



【株主還元】



※1 2026年7月1日付で実施した株式分割（普通株式1株につき2株の割合）を考慮した数値を記載

※2 自己株式取得枠のうち、上限35億円を単純期間按分した参考試算額 ※3 26年9月期と同等の配当総額・純利益を前提とした参考試算値

株主優待制度の新設

- 当社株式への投資魅力を高め、幅広い投資家の皆様に当社株式への関心を高めていただくことを目的として株主優待制度を導入
- 対象となる株主様の保有株式数に応じて株主優待ポイントを贈呈。「三洋貿易・プレミアム優待倶楽部」において、5,000種類以上の商品からお好みの商品を選択可能



保有株式数	進呈ポイント数
500株～599株	2,000ポイント
600株～699株	3,000ポイント
700株～999株	5,000ポイント
1,000株～1,499株	8,000ポイント
1,500株～1,999株	13,000ポイント
2,000株以上	20,000ポイント

優待商品の一例をご紹介します

※写真はイメージです。また、優待商品は変更になる場合がございます。

20,000 point ~ (2,000株～) の対象優待商品例  <米沢牛ステーキ> 米沢牛サーロインステーキ 3枚 (計 630g) <ボイルずわいがい> ボイルずわいがい 500g×3	13,000 point ~ (1,500株～1,999株) の対象優待商品例  <近江牛 ずき焼き用 南肉500g> <家とろ奉還> とろろくろ奉還・とろろくろ辛仕 計290g	8,000 point ~ (1,000株～1,499株) の対象優待商品例  <高崎牛 毛モ 焼肉用 640g> <紅鮭西京漬・味噌漬組合せ 2種 計68g>
5,000 point ~ (700株～999株) の対象優待商品例  <米沢牛ステーキ> 米沢牛の黒毛和牛入りハンバーグセット 3種 計700g デミグラス×3個、イタリヤン・和風ハンバーグ各2個 <外巻焼 北の巻焼コースしゃぶしゃぶ 500g>	3,000 point ~ (600株～699株) の対象優待商品例  <中華焼> 台湾焼ごはんの肴 3袋 <牛一> 鹿児島 黒豚生餃子 12個入×3箱	2,000 point ~ (500株～599株) の対象優待商品例  <くまもと食品> 豚の角煮 2袋セット <博多華味屋> 一膳力レー 110g×4袋

【進呈条件】2026年以降、毎年9月末日の株主名簿に500株以上保有する株主様として記載または記録されること
 【繰越条件】翌年9月末日において株主名簿に同一株主番号で連続2回以上記載され、かつ500株以上継続保有されている場合にのみ繰り越せます（最大1回まで）。

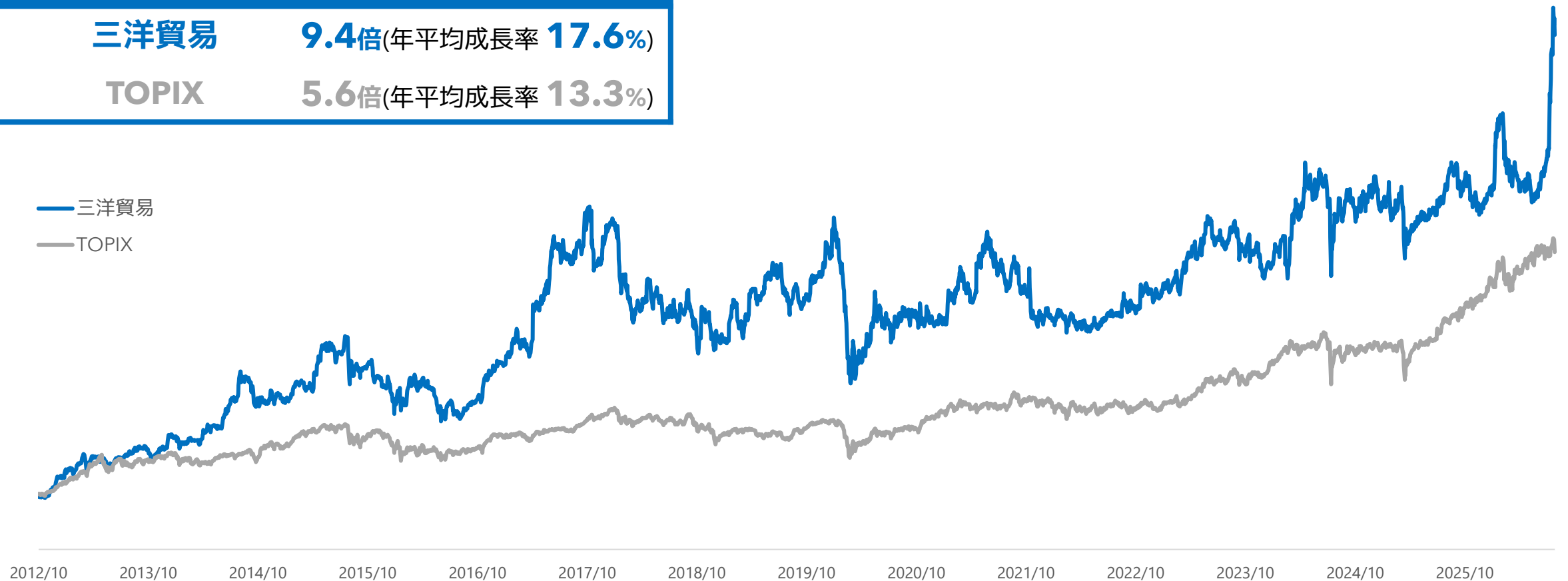
株価推移

- 上場以来、安定した成長を背景にTOPIXを大幅に上回る水準で株価は推移

株価パフォーマンス (2012年10月23日と2026年8月20日の比較)

三洋貿易 9.4倍(年平均成長率 17.6%)

TOPIX 5.6倍(年平均成長率 13.3%)



本日のまとめ

- 三洋貿易ならではの「よい仕事」
- 既存と新規の二刀流での成長戦略
- 長期安定的かつ積極的な株主還元

その他ご案内

< 統合報告書 2025 >



QRコードはこちら



公式SNS はじめました



< 公式 Instagram >



< 公式 X >



< 公式 YouTube >



QRコードを読み取ってフォローをお願いします。

様々な情報を掲載しております。
ご興味ただけた方は是非ご覧ください。



Quest for Next